

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和元年度第3回（H30.6.7～H32.6.6）
開催日時	令和元年7月8日（月曜日） 午後7時から午後8時35分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：青木委員、鎌田委員、白井委員、秦委員、吉田委員、横山委員 事務局：福田係長、藤野主査
議題	1 第2回会議録の承認 2 西東京市男女平等推進センター企画事業について 3 情報誌パリティ23号について 4 その他
会議資料の名称	資料 ① 第2回会議録（案） ② 2019年度男女平等推進センター企画講座 提案（7月5日更新） ③ 男女平等推進センター事業企画書（7月提案分） ④ 令和元年度 男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（7月5日更新） ⑤ 情報誌パリティ23号 特集、ニュースまとめ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》これより第3回企画運営委員会を開催します。</p> <p>1 第2回会議録の承認 委員長：第2回会議録について、何か意見はあるか。 1か所誤字の指摘あり。 指摘の箇所を修正し、第2回会議録を承認とする。</p> <p>2 西東京市男女平等推進センター企画事業について 事務局：企画については共通講座・週間事業の企画案が提出されているので、資料として配布した。 委員長：今回追加で提出された企画について内容を説明いただきたい。 委員：「女の子の「自己肯定感」を高める育て方」 女子校の校長先生が生徒と向き合ってきた、未来をポジティブに進める女子の育み方について学ぶ。 委員長：共通講座でよいか。 事務局：共通講座と考えている。 委員長：質問はあるか。 委員：男女平等推進センターの企画事業にあった考え方なのか、女子教育をどのよ</p>	

うに考えているのかが気になる。

男女どちらもそれぞれが自立した対等な教育という視点で、捉えているかまた、共学校へとの流れもあると思うので、どのような教育方針か確認が必要ではないか。

委員：女子教育について取り組んできた学校の校長先生であるので、別学での教育が必要と考えていると思う。

事務局：パリティライブラリーの書評でとりあげた本である。校長先生の女子教育の方針が載っていると思うので、読んで確認する。

委員長：週間事業について2名より提案があるので、順番に説明願いたい。

委員：「性暴力のない社会へ（仮題）」

性暴力をなくす活動に、心のケアから身体的ケアと多岐にわたり取り組んでいる方である。以前、パリティまつりで「性暴力から子どもを守る」講座を実施したことがあるので、もう一つの提案を優先してもいいと考えている。

委員長：週間事業なので、子どもに特化しない方が適しているのではないか。

委員：講師に依頼するとなったら、切り口をどのようにするか相談をする。どのような形でも対応ができる方と思う。

委員長：もう一つの提案の委員が遅れているので、次の議題に一旦進めます。

3 情報誌パリティ23号について

事務局：前回委員会後に、メールで確認いただいた特集記事校正案についてドゥーアーバン様に提出した。再度提供があった原稿案を資料にした。

4、5ページの内容を書いてもらう、ファイナンシャルプランナーの選考を、ドゥーアーバン様の推薦の3名の中から選んでいただきたい。

回答期限が10日水曜日である。

委員長：まずは、この3人の中から選ぶより、プランナーに何を言ってもらうかの共有をしたい。ご意見をどうぞ。

委員：若い世代のみを対象とした内容だと、高齢者にとってはせっかく読んできても、何も役に立つ情報がない記事になってしまうのではないか。

委員長：どの世代の人が読んで、何かできることがあるなど思えるような内容が書けるとする人を選び依頼する。

委員：承知した。

事務局：幅広い世代に向けて書いてもらうとすると、「未来の自分を守るお金の話」というタイトでよいか。

委員長：未来がつくと、若年層向けとの印象になるがご意見はあるか。

委員：未来を取って「自分を守るお金の話」としてはどうか。

委員長：ご意見はあるか。

委員：承知した。

委員長：会議内で3名の中から選考するか、持ち帰り回答するか。

委員：HP等を見てから考えたい。

委員長：それでは、期限を10日水曜日の正午までとし、事務局に各自回答する。

委員：多数決にしても同点となる可能性があるので、優先順位を書いて回答したらどうか。

委員長：それでは、期限までに、優先順位をつけて事務局に回答する。

委員：承知した。

委員長：2の議題の西東京市男女平等推進センター企画事業について、再度戻ります。週間事業の講座について、説明願いたい。

委員：「DV被害者への支援者に対する支援（仮題）」

DV被害者の支援者の支援を行っている方である。支援者を支援する活動の話しを聞いて、その側面からDVについて考える。

委員長：講座の対象者はどのように考えているのか。

委員：被害者本人が来ることはあまり想定されないが、自分の身近な人が被害にあった人などに聞いてもらいたい。また、一般のひとが、DVについて少しでも理解し、正しい知識を持ってもらうきっかけにしたい。

委員長：週間事業は2講座の案が出ているが、1つ目の講座は以前、パリテまつりで実施したことがあるので、DV被害者への支援者に対する支援講座にこの委員の意見があった。ご意見はあるか。

委員：DVについての知識を広める、一般むけの分かりやすい講座を希望する。

委員：支援者の話のみでなく、DVに対しての全般の話しが聞けると思う。

委員長：賛成の方は、挙手願いたい。

委員：全員挙手。

委員長：それでは、週間事業は「DV被害者への支援者に対する支援（仮題）」とします。

委員長：他の講座については、ご意見をお願いします。

委員：候補の講座が5つある。残りの講座枠は4つになっている。

事務局：残り講座に関しては、次回の委員会で決めたい。

委員：承知した。

委員：週間事業の市報への掲載方法について、講座の案内が分かりにくいので改善してほしい。

事務局：承知した。今後は、他の講座と同様の案内で広報していく。

4 その他(次回開催日程等)

事務局：今後の委員会の開催場所について、田無での開催の希望日を決めたい。事務上の都合で、できれば1回かあ2回にとどめていただきたい。

委員長：12月2日の委員会を田無で実施を希望する。

事務局：承知した。その日程で会場の確保を試みる。

事務局：次回は8月23日金曜日です。住吉会館1階活動室です。

委員長：本日は散会とする。ありがとうございました。

《閉会》